

第 11 回東京実技セミナー 開催報告



会期:平成 27 年 3 月 7 日(土)

会場:ラックヘルスケア株式会社東京オフィス

主催:NPO 法人 口から食べる幸せを守る会

共催:株式会社大塚製薬工場

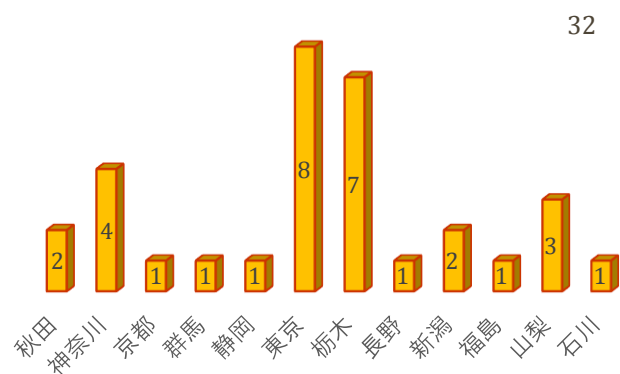
ラックヘルスケア株式会社

後援:株式会社クリニコ

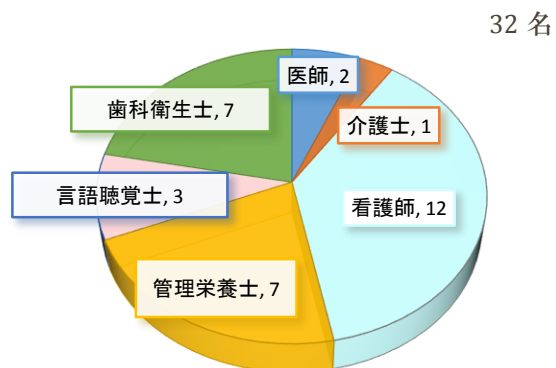
日清オイリオグループ株式会社

渡辺商事株式会社

参加者都道府県別



参加者職種別

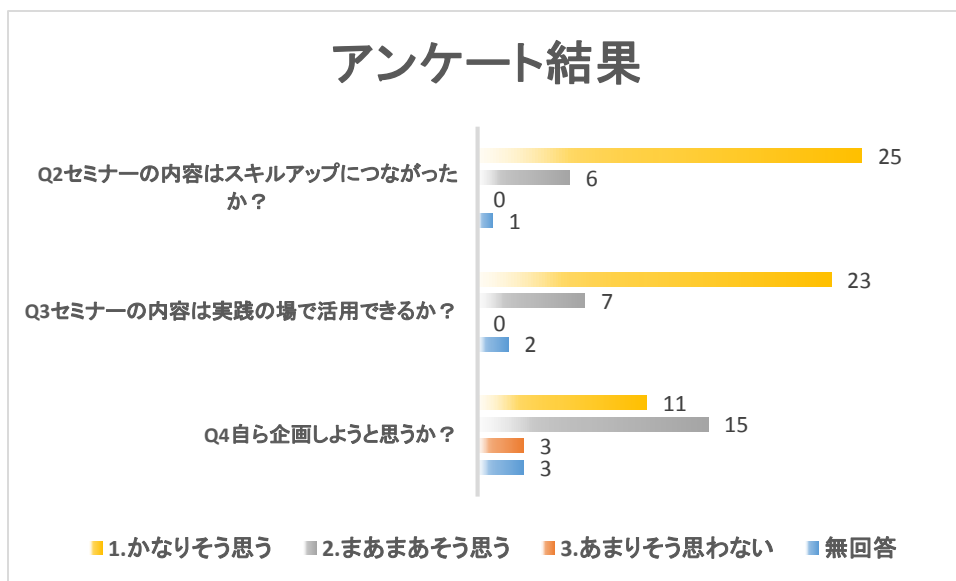


実技セミナー 講師・アドバイザー一覧

<敬称略・五十音順>

氏名	所属	職種(摂食嚥下に関する資格)
小山 珠美	NPO 法人口から食べる幸せを守る会* 理事長	看護師(日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士)
竹市 美加	日本赤十字広島看護大学 認定教育課程 非常勤講師	摂食・嚥下障害看護認定看護師
甲斐 明美	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院	摂食・嚥下障害看護認定看護師
金 志純	社会福祉法人鶴風会 東京小児療育病 院	摂食・嚥下障害看護認定看護師
黄金井 裕	介護老人保健施設 さつきの里あつぎ	言語聴覚士(日本摂食嚥下リハビリテーショ ン学会認定士)
砂山 明子	都立駒込病院	摂食・嚥下障害看護認定看護師
上野 美幸	山梨市立牧丘病院	看護師
大谷 愛子	医療法人社団永研会 ちとせデンタルクリニック	歯科医師
山下 ゆかり	医療法人社団永研会 ちとせデンタルクリニック	歯科衛生士

アンケート結果



Q2 セミナーの内容はスキルアップにつながったか？

* 前回他の研修で小山先生から指導を頂いたものが、より具体的になった。実際に行っている内容の振り返りになりました。

* 水の濃いトロミであり経口が進まなくてもゼリーなどであるといろいろな味があり、経口が進むことがあるので参考にしたい

* 口から食べる事をあきらめてしまう医療もあるが、最後まで食べられる援助を今後していきたい。

* 今回、2 回目の研修で前回の復習となりましたが、なかなか上手くできず…。また、がんばります。

* 少人数での実技形式で大変参考になりました。ありがとうございました。

Q3 セミナーの内容は実践の場で活用できるか？

* 感覚を使う事の意義は前から感じていたが、一層その思いを強くした。

* 当院は回復期リハビリ病棟であり、すぐに実践できます。しかし、これをどのように広めていくのが課題となります。

* ベッド上での食事介助、ポジショニングや食事介助時の方法は実践できそう。30° 60° など人によってちがうので、一定させていくには時間が必要だと思った。

* ポジショニングのコツ、実際に患者と家族を体験した事で理解できた。

* 腕の置き方ひとつで緊張が出てしまう事を理解していたつもりだが、やってみると気がつかないことだらけでした。今後、食事介助するときはあまりあせらず、丁寧にその方のポジショニング、シーティングをみていきたい

* 傾眠やムセがあるという方に食事環境の見直しとして活用できる。介入時の食事介助に活用できる

Q4 自ら企画しようと思うか？

* 群馬県では摂食嚥下分野への理解がうすいと思われ、吾妻地域から広めていきたい

* まずは、一緒に口腔ケアや勉強しているスタッフへ伝えたいと思います。

* ポジショニング、スクリーニング、食事援助技術、食べる事の意味と幸せや患者の望む食事へつなげることの大切さ

* 当院は、病院・老健・看護学校を有しているので、3 つ合わせてできたらと思います。

～セミナー演習中の様子～





皆様ご参加いただきありがとうございました。

NPO 法人 口から食べる幸せを守る会®

